※令和４年度以降入学生用

学校番号	101

令和５年度　地理歴史科

教科	歴史総合	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『歴史総合』　（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合は人間の社会がいかにして変化・発展し、今日のような国際社会がどのようにして成立していったのか、ということを理解する科目である。また人間社会の変化・発展を学ぶなかで、今後の日本や国際社会のあるべき姿を考えていく科目でもある。授業では、歴史上の有名人だけにとどまらず､私たちのような一般民衆がよりよい社会をきずくためにいかにして生きてきたのかということをしっかりと学んでほしい。

２　学習の到達目標

【①知識・技能】社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる。
【②思考・判断・表現】課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会について考える。
【③主体的に学習に取り組む態度】①・②の活動を通して、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○世界の歴史についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているか。 ○身につけた知識を史料や統計資料などの諸資料と関連付けて、効果的に活用することができているか。 ○身につけた知識をもとに、課題解決のための適切な諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択することができているか。	○時期，年代など時系列に関わる視点，展開，変化，継続など諸事象の推移に関わる視点，類似，差異など諸事象の比較に関わる視点，背景，原因，結果，影響，関係性，相互作用など事象相互のつながりに関わる視点，現在とのつながりなどに着目して，比較したり，関連させたりして社会的事象を捉え、整理したうえで、これら説明することができるか。	○歴史的事象や課題について関心を高め、意欲的に追及しているか。 ○日々の授業のプリントや、知識･思考などの問題に対し、積極的に取り組み、自らの学習状況を把握し、自己評価を行い、改善への学習の調整をおこなっているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	近代化への胎動	1. 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2. 江戸時代の生産・流通と諸改革 3. 幕政の改革と東アジア世界	a:交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料から情報を読みとったり，まとめたりする技能を身につけている。 B：交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などの変容について、多角的・多面的に考察し、表現している。 c：内容に興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考察ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	1. イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 2. フランス革命とウィーン体制 3. アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 4. 歴史のひろば(4)世界市場の形成 5. オスマン帝国の衰退とロシア 6. アヘン戦争の衝撃と日本の開国 7. 江戸幕府の滅亡	a：18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸，オスマン帝国における政治，世界の経済と社会を理解している。 b：18世紀とその前後の世界各地域の動向を多面的・多角的に考察し，表現している。 c：内容に興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考察ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
	欧米諸国と日本の国民国家形成	1. イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 2. 明治政府の諸改革 3. 日本のアジア外交と国境問題 4. 自由民権運動と大日本帝国憲法	a：19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 b：19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を多角的・多面的に考察し表現している c：内容に興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考察ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

※令和４年度以降入学生用

	帝国主義の時代	1. 帝国主義の時代へ 2. 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 3. 日清戦争後の東アジア 4. 日露戦争と東アジアの変動 5. 日本の産業革命	a: 19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における経済と社会を理解している。 b: 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 内容について興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考 察 ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
2学期	第一次世界大戦と大衆社会	1. 第一次世界大戦 2. ロシア革命とソ連の成立 3. 米騒動とデモクラシー 4. ヴェルサイユ体制とワシントン体制 5. アジアの民族運動 6. 第一次世界大戦後の欧米諸国 7. ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a:第一次世界大戦の展開，戦後の国際関などを基に大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 b: :第一次世界大戦の展開，戦後の国際関などを多角的・多面的に考察し、表現している。 c: 内容について興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考 察 ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
	経済危機と第二次世界大戦	1. 世界恐慌と各国の対応 2. ファシズムの時代 3. 満洲事変と軍部の台頭 4. 日中戦争と戦時体制 5. 第二次世界大戦の勃発 6. 第二次世界大戦の終結 7. 国際連合の成立と冷戦 8. 日本占領と日本国憲法 9. 朝鮮戦争と日本	a:世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 b: 世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を多角的・多面的に考察し、表現している。 c: 内容について興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考 察 ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	冷戦と脱植民地化	1.　植民地の独立 2.　米ソ両陣営の動揺 3.　日本の国際社会復帰と高度経済成長	a: 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを理解している。 b: 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理、日本の高度経済成長などを多角的・多面的に考察し、表現している。 c: 内容について興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考 察 ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価
	多極化する世界	1.　石油危機と世界経済 2.　緊張緩和から冷戦の終息へ 3.　日本の経済大国化	a:石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展，市場経済の変容、冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応など冷戦終結後の国際政治の変容とこれの課題を理解している。 b: 石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展，市場経済の変容、冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応など冷戦終結後の国際政治の変容とこれの課題を多角的・多面的に考察し、表現している。 c: 内容について興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考 察 ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化と現代世界	1.　地域紛争と対立 2.　国際秩序の変容	a:歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解している。 b:事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 内容について興味・関心をもったこと，疑問に思ったこと，追究したいことなどを主体的に見いだそうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワーク	・定期考査 ・授業プリントの考 察 ワーク	・学習状況 ・プリントの振り返りや自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度